

# 一般質問

# 町政を問う



高瀬 政信 議員

Q 幼児健診は、26年度からどのように通知するのか。

健康課長 個別に通知を郵送で出したいと思いますが、ホームページでは1年間の予定を掲載、幼児健診は年6回あるわけですから、健康時にも周知します。

Q 今この5年間で空き家対策というか、この町に住んでいただいた方は。

企画財政課長 昭和58年度の事業開始以来72件の契約件数で、年間20件から60件の問い合わせをいただいております。現在22件の登録物件のうち、19件をご利用いただいております。  
Q サテライトオフィスは、どのような事業か。

企画財政課長 群馬県では、バックアップ機能誘致協議会というのを官民一体となって大澤知事の肝いりにより平成23年度から始めてございます。

サテライトオフィスというのは、企業や団体が本拠地から離れたところに設置するオフィスのことでございます。みなかみ町のほうへ誘致したということが1件、話は聞いておりますけれども、群馬県でも、9つの物件を各市町村が群馬県のほうに登録しているようなことございます。

Q ゆとり教育について成果を教育長の見解は。

教育長 特徴としては、教科内容と授業時間を削減して、児童・生徒の負担を軽減して、余った時間を教科の枠に縛られない総合的な学習の時間等を新設し、ゆとりのある教育を目指しております。ゆとり教育の成果

につきましたは、文部科学省においても確定的な評価がなされておりませんので、それがよかったのか悪かったのかということについては、なかなか今判断する状況にはなっておりませんが現状でございます。

Q いじめの問題を精査する中で、その変わった時期は、どういう意見を持っていますか。

教育長 いじめが増加したということに、文部科学省のいじめに対する定義が変わりまして、今まで報告されていなかったものも報告されるという、そんな背景もありまして、ゆとり教育があったためにそういう問題が起きたかどうかということについては、なかなか一概にそれが原因ですというふうには判断ができませんのではないかなというふうには私思っております。

Q 土曜日に自然に触れ合う授業は。

教育長 群馬県内の公立の小・中学校で学校教員育成の授業を行う土曜授業を実施している学校はないというふう聞いております。

現在公民館が主催をして、子ども体験学習教室を年8回、土曜日に開催しております。小学生が対象です。

教育課長 通称チャレンジキッズといっております。まして、1年間を通じて実施しております。昨年ですと、申し込みの小学生が65名いまして、延べ参加者数が256名ほどおりました。



チャレンジキッズ (石の観察会)

Q 先の豪雪災害状況と対策は。

産業振興課長 被害状況は、農業関係は、3月12日現在で農業施設被害が面積で3万3,929平米、金額では2億1,197万4,000円です。住家の屋根等の被害状況は、3月10日現在で19件の申し込みがある。除雪状況は、3月7日現在で49路線、約1,900万円の請求が上っております。最終的には3,000万円近くになると想定。農家台帳及びJA出荷者名簿等で確認をし、約950件に郵送で調査票を配布し、3月4日時点で130件の申し出がある。

総務課長 災害救助法により自衛隊、赤十字社



岩崎 正春 議員